

第3学年 体育科学習指導案

平成27年11月5日(木) 第5校時

第3学年4組 28名

指導者 略

1 領域 ゲーム(ネット型ゲーム)

2 単元名 『心をつないで! プレルボール!』

3 単元の目標

- 自分のコートにボールを打ちつけて味方にパスをしたり、相手コートに返したりすることができる。(技能)
- ルールやきまりを守りながら進んで練習を行ったり、友だちと励まし合いながらゲームをしたりしている。(態度)
- みんなが楽しめるようにルールを工夫したり、チームで作戦を考えたりすることができる。(思考・判断)

4 指導について

- 本単元は、小学校学習指導要領の第3学年及び第4学年の内容E「ゲーム」(1)のイ「ネット型ゲームでは、ラリーを続けたり、ボールをつないだりして易しいゲームをすること」(2)「運動に進んで取り組み、規則を守り仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする」(3)「規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようにする」に基づいて設定したものである。学習内容として、「ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に体を移動したりすること」「いろいろな高さのボールを片手又は両手ではじく、打ちつけるなどして、相手のコートに返球すること」と具体的に示されている。

本単元は子どもたちにとって初めて経験するネット型ゲームである。プレルボールは、自陣にワンバウンドさせてから相手コートに返し、相手コート上でもワンバウンドしてからボールを操作する。そのため、初めての子どもたちにも取り組みやすく、仲間と連携しながらラリーの攻防を楽しむことができる教材である。両手打ちやキャッチを許容し、チームの人数、ネットの高さ、コートの大きさなどを工夫することでやさしいゲームになる。

技能に関しては、「ボール操作」及び「ボールを持たないときの動き」で構成されている。「ボール操作」はサービス、パス、返球(アタック)など、攻防のためにボールを制御する能力のことである。「ボールを持たないときの動き」は、「ボールの落下点に走り込む」「味方をサポートする」など、ボール操作にいたるための動きや守備にかかわる動きのことである。ラリーを続けたりボールを持たないときの動きを考えたりすることは、高学年でのボール運動(ネット型)にも繋がるため、系統性をもって行うことができる。

- 本学級の子どもたちは、全体的に運動好きな子が多く、体育の時間には積極的に体を動かしている姿が見られる。また、休み時間にも自分たちでルールを決めてボール遊びを行っていたり、友だちと誘い合って大縄とびを練習したりしている。一方、運動が苦手な子や休み時間に教室からなかなか外へ遊びに出られない子もいる。そのため、運動の好き嫌いや運動能力には大きな差がある。

また、友だちと関わって運動することが苦手な子どもも多い。4月に行った多様な動きをつくる運動では、身体が接触する運動に抵抗感をもち、運動を楽しむことができなかつた。勝敗にこだわりすぎて、友だちに対する言葉かけが乱暴になったり、ルールをきちんと守って運動ができなくなったりする姿もみられた。そこで、友だちとの関わりが多い運動や、個人が目標を設定し取り組むことができるような運動を多く取り入れてきた。1学期での取り組みを通して、友だちと触れ合いながら運動し、体を動かすことの楽しさを実感しつつある。しかし、友だちとの関わりの中で技能を習得したり、協力し励まし合いながら運動したりすることのよさや喜びを十分に味わえていない。

- ボールをバウンドさせて相手コートに戻したり、ラリーを続けたりすることは3年生にとって初めての技術であり、慣れるのに時間が必要と考える。そのため、ドリルゲームやタスクゲームを取り入れ、基礎感覚を養い、技能を高められるようにする。

コートに入る人数は3人とし、1人1回のプレー（計3回）で、相手コートに戻すこととする。それにより、全員がボールに触れる機会を保障する。また、すべてのポジションを体験できるように、ラリーが終わるごとにローテーションをさせる。判定についてはセルフジャッジで行う。自分のチームにとって不利な場合にも、正直に判定する態度を養い、勝敗にこだわりすぎないように声をかけたい。

ラリーが続く楽しさがネット型ゲームの醍醐味である。3年生でもラリーが続きやすくするために、場やルールなどを工夫したり、子どもたち自身がルールを考える場を設けたりする。自分たちでルールを考えることで、意欲的にゲームに参加したり運動の苦手な友だちのことを意識したりすることができると思う。

また、友だち同士での認め合いや励まし合いを大切にしたい。自分のことだけでなくチームのために考え、声かけや関わりをしている子どもを認め、ほめていきたい。その中で、友だちのがんばりやすくてきなところを子どもたち自身が発見し、集団で活動することのよさや楽しさを味わわせたい。ボールをつなげることで周りの仲間とつながり、一体感を味わうことができるようにしたい。

5. 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
① 友だちと協力して、進んで運動に取り組もうとしている。	① みんなが楽しめるようにルールを考えたり工夫したりすることができる。	① ボールを打ちつけ、味方にパスすることができる。
② ルールやきまりを守ったり、勝敗を受け入れたりしながらゲームを楽しもうとしている。	② 簡単な作戦をたて、チームで話し合うことができる。	② ボールを打ちつけて相手コートに戻すことができる。
③ 用具の安全に気をつけて、準備や片付けをしようとしている。		

6. 2年間を見据えた指導計画

プレルボールを基にした易しいゲーム			ソフトバレーボールを基にした易しいゲーム	
1	2～5	6～10	11	12～16
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの行い方を知る。 ・準備や片付け、運動の場の安全について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作しやすいボールを使い、キャッチを許容するなどのルールを工夫し、互いにラリーが続くように易しいゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで立てた作戦を生かしながら、チームで協力して試合をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの行い方を知る。 ・準備や片付け、運動の場の安全について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作しやすいボールを使い、ボールに触れる回数の制限を緩和したりキャッチを許容したりして、互いにラリーが続くように易しいゲームをする。

7. 指導計画

	1	2	3	4	5	6	7	8 (本時)	9	10
ねらい	○学習の見通しをもつ。	○みんなが楽しめるルール作りをする。 ○安定したプレルパスができるようになる。		○ラリーを続けられるように、協力してゲームをすることができる。		○自分たちで立てた作戦を生かしながら、チームで協力して試合をすることができる。				
主な学習活動と内容	○オリエンテーション ○基本の動きとルールの確認 ○試しのゲーム	○準備体操・学習の準備 ○めあての確認 ○ドリルゲーム ○タスクゲーム ○メインゲーム ○ルールについての話し合い ○ふり返り		○準備体操・学習の準備 ○めあての確認 ○チーム練習 ○メインゲーム ○ふり返り		○準備体操・学習の準備 ○めあての確認 ○チーム練習 ○リーグ戦 ゲーム 作戦タイム ゲーム				
評価	関①	技①	思①	関③	技②	関②	技②	思②	思②	関②

8. 本時案（第8時／全10時間）

（1）本時の評価規準

- 簡単な作戦をたて、チームで話し合うことができる。（思考・判断②）

（2）展開

学習活動	指導者の支援（○）・評価（☆）	準備物
1 準備運動	○足首やふくらはぎ、太ももの裏、手首、肩関節などを意識させる。	ゼッケン ボール ネット 対戦表 得点板 作戦ボード
2 用具の準備	○協力して、安全に気を付けて準備するように促す。	
3 めあての確認		
チームで作戦を話し合い、協力してゲームを楽しもう		
4 チーム練習	○練習が効果的になるようにアドバイスをする。	
5 ゲーム（前半）	○ルールやきまりを守って楽しく活動できるよう声をかける。 ○よい動きやよい声かけを認め、全体に広げていく。	
6 作戦タイム	○前のゲームをふり返りながら話し合いができるよう声をかける。 ☆簡単な作戦をグループで話し合うことができる。 【思考・判断②】（観察・ワークシート）	
7 ゲーム（後半）	○ルールやきまりを守って楽しく活動できるよう声をかける。 ○よい動きやよい声かけを認め、全体に広げていく。	
8 ふりかえり	○うまくいったプレーやルールについて発表させたり、友だちのよかったプレーや声かけについて発表した児童を賞賛したりして、次時の学習への意欲の向上をはかる。	
9 整理運動	○運動で使った部位をほぐすようにする。	

プレルボールのルールについて

- 必ずバウンドさせてパスをしたり相手コートに返したりする。
- キャッチをしてから、プレーすることを認める。
- キャッチしてから3秒以内でプレーに移る。
- サーブは下から、取りやすいボールを投げ入れる。
- 3回（又は4回）以内に相手コートにボールを返せなかった時は、相手チームの得点（1点）とする。

場の設定について

- コートは6m×13m
- ネットの高さは50～60cm
- ゲームに出場するのは3人（ローテーションをする）
- ラリーが終わるごとにローテーション